

平成28年度・29年度・30年度  
令和元年度・2年度・3年度

## ものづくり・商業・サービス 補助金成果事例集

岡山県

発行日：令和6年1月  
岡山県中小企業団体中央会  
〒700-0817 岡山県岡山市北区弓之町4番19-202号  
(岡山県中小企業会館2階)  
TEL 086-224-2245 FAX 086-232-4145  
E-mail [chuokai@okachu.or.jp](mailto:chuokai@okachu.or.jp)  
URL <https://www.okachu.or.jp/>

CASE  
EXAMPLES  
OKAYAMA

平成28年度・29年度・30年度  
令和元年度・2年度・3年度

## ものづくり・ 商業・サービス 補助金成果事例集

岡山県



平成28年度・29年度・30年度  
令和元年度・2年度・3年度

# ものづくり・ 商業・サービス 補助金成果事例集

岡山県

## はじめに

「平成28年度補正革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」並びに「平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」「平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」「令和元年度補正・令和2年度補正・令和3年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」は足腰の強い経済を構築するため、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援することを目的に創設されました。

また、当該事業においては事業類型に「第四次産業革命型」や「企業間データ活用型」が加わるなどITやIoT・ロボット等、最先端技術の導入を促進することで国際的な経済社会情勢の変化、また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、社会経済の変化に対応した事業展開を支援する「特別枠」「グローバル展開型」が追加された等、前向きな投資を行う事業者への支援を目指しました。

本県においては6年間で延べ1,000社が当該事業を活用することで、即効的な需要喚起と好循環を促し、地域経済の活性化に寄与しました。

本冊子では、これらの補助事業の成果を内外に広く周知することを目的に実施企業の中から10者を選定し成果事例集として取りまとめました。

原材料高騰等によって経済活動に大きな影響が出る中で、この事例集が、新たな開発や設備投資、経営革新等に取り組む中小・小規模事業者の皆様にとって参考となりましたら幸いです。

最後となりましたが、本事業の実施および成果事例集の作成にあたり、多大なご協力をいただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

令和6年1月

岡山県地域事務局  
岡山県中小企業団体中央会

## 目次

### 事例編

#### 平成28年度

株式会社すえ木工	4
IoTを活用した大型プラスチック塗装品の生産性革新	

#### 平成29年度

有限会社ミルクパーラー	6
三機一斉導入による革新的な生産性向上とブランドカアップに向けた創出時間活用策	

株式会社モスト	8
新設備導入による生産性向上と工場ネットワーク化、短納期生産体制の確立。	

#### 平成30年度

株式会社アイ・エス	10
県北のステンレス加工技術の向上！！最少人数稼働への地域牽引企業としての挑戦！！	

ティーソーケー株式会社	12
物流業界の“働き方改革”時代における小梱包ニーズに対応した「袋包装サービス」強化事業	

株式会社WHOVAL	14
ナノバブルを活用し環境に配慮した革命的生産プロセスの確立	

#### 令和2年度

大紀産業株式会社	16
世界初ステンレス製デジタル大型電気食品乾燥機の開発	

株式会社フジワラケミカルエンジニアリング	18
“熟練の技術を活かす”大型製品受注拡大とテレワーク導入	

#### 令和3年度

株式会社児島織協	20
選別プロセス改善による解体系廃棄物の積極的受入でSDGs推進	

高木金属株式会社	22
県内初製品を製造することで、強固な経営基盤の構築、稼ぐ力の強化	

### 資料編

実施企業一覧	24
--------	----

## ▶▶▶ 株式会社すえ木工

### IoTを活用した 大型プラスチック塗装品の生産性革新

すえ木工は家具と大型プラスチック成形の2事業を展開する。大型プラスチック事業の主力は農機の樹脂製外装パネル。増産要求を受けていたが塗装工程での不良率が高く、手直しにも余分な人手を要していた。そこで塗装工程を抜本的に見直し、IoT（モノのインターネット）技術を活用した塗装システムを導入。品質と効率を大幅に高めることができた。

#### 会社概況

軽量・大型品が得意な「RIM成形」で、国内トップクラス

祖業は1945年創業の家具事業。美作地域の木材を使った収納家具のオーダーメイド品を短納期で納め人気を集めている。大型プラスチック成形事業には1992年に参入。事業部名のRIMとは「リアクション・インジェクション・モールドディング（反応射出成形）」の略。2種類の液体原料を混ぜながら金型に注入し、反応させて固化することで、通常よりも大型・耐熱・高強度の品を成形できるのが特徴。この方式の成形品を手がける会社が国内に10社程度ある中で、すえ木工の生産量はトップクラス。「RIM成形であれば小さいモノから大きいモノまで何でもやれる会社はほかにあまりない」（金島取締役RIM事業部長）という。



RIM事業部の全景

#### 事業内容

塗料や塗装方式を変更、IoTシステム導入で抜本的刷新へ

主力は農機の外装パネルで、トラクターなら1台に6枚のパネルが使われる。自社提案塗料の高い耐候性が評価され取引先から増産要請が来ていた。ところが2016年当時、塗装工程の社内不良率は18%もあった。塵の付着や塗装プログラムの入力ミスが原因で、付着した塵を取り除くバフ研磨作業は10人がかりで対応していた。

そこで塗装工程の抜本的な刷新を決定。①塗料変更で2回から1回塗装へ。②エアブレイ方式から非静電ベル方式へ。③新塗装ブースと乾燥炉で塵削減。④塗装ロボット導入。⑤バーコードで塗装プログラムを読み込むIoTシステム。⑥データを蓄積し品質管理。の6点だ。



大型樹脂と家具事業の技術を結集し製品化したバスタブ製品『HAKOBUNE』

#### 事業成果

塗装作業、塗着効率向上。  
不良発生時の原因も瞬時に判明

成果は大きかった。塗料変更とロボットで作業効率が向上。塗装ガンの変更で塗料の塗着効率は25%高まった。塗装ブースと乾燥炉の刷新で塵の付着は3分の1に減少、バフ研磨作業も7人に削減できた。

IoTシステムでは個々の塗装部品に二次元バーコードを貼ってラインに投入、バーコードから塗装プログラムを呼び出す。月に5回程度あったプログラム入力ミスはなくなった。

特に効果があったのが品質管理。検査工程でタブレット端末を1人1台支給し結果を入力。50項目にのぼる塗装条件を個々の製品と紐付けてデータを蓄積し、不良の原因があつという間にわかるという。



ロボット塗装システム

#### ワンポイント

システムを駆使し、次の手を早く打てるように

塗装システム刷新は2018年。RIM成形品は成形、加工、塗装、検査の4工程からなり、その後は成形や加工でもシステムによる改善を進めた。今は在庫管理と受注のシステムを連携させ誤出荷を防ぐ取り組みを進める。「不良の原因がすぐわかるので手を打てる。PDCAサイクルを回すのが数倍早くなった。」（金島取締役RIM事業部長）。2022年度の「おかやまIT経営力大賞」では「大賞」を受賞した。



取締役RIM事業部長  
かねしま ひでお  
金島 英男さん

事例編

株式会社すえ木工

#### ▶▶▶ 会社概要 company profile

設立	1952年	所在地	岡山県津山市八出493 (RIM事業部)
資本金	1000万円	TEL	0868-23-4050
代表取締役社長	須江 健治	FAX	0868-23-4978
従業員数	98人	URL	https://www.suemokko.co.jp/
売上高	約17億円(2022年7月期)		

## ▶▶ 有限会社ミルクパーラー

### 三機一斉導入による革新的な生産性向上と ブランドカアップに向けた創出時間活用策

ミルクパーラーは岡山県総社市で洋菓子店「パティスリー シエルブルー」を経営する。2007年の開業後は品質の高さから地元を中心に固定客を開拓してきた。看板商品はマカロン。ただ、お客さんから高い評価を得ながら、手作りのため売り切れになることもあった。そこで専用装置を導入し、生産工程の効率化を図った。

#### 会社概況

##### 新天地での出店を決断

2007年、岡山県総社市にパティスリー シエルブルーを開業した。父が岡山県玉野市で洋菓子店を営み、自身も数年働いたが、新天地での出店を決断し、洋菓子専門店が数店しかなかった総社市で候補地を見学。「一目で気に入った」（伊藤社長）ことから現在の場所に開業を決めた。

パティスリー シエルブルーでは生クリームベースのフルーツを飾ったデコレーションケーキ、チョコレートやフルーツを使ったムースなどがショーケースに並ぶ。お客さんからの評価は高く「長く、継続的に来てくれる方が多い」（伊藤社長）という。売り上げは順調に拡大しており、今後は他店との差別化を一層進めていく方針だ。



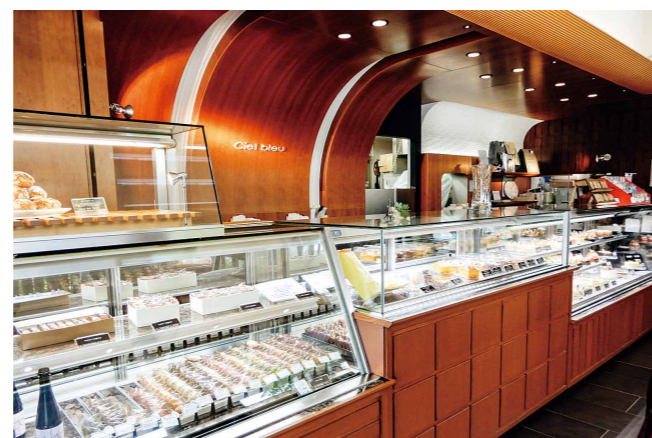
2007年に開業した「パティスリー シエルブルー」

#### 事業内容

##### 東京で6年半修行

パティスリー シエルブルーのシェフパティシエで、ミルクパーラーの伊藤嘉浩社長は大学卒業後、東京の洋菓子店などで6年半修行した。この時に身につけた技術の一つがマカロン。マカロンは「皮の色がカラフルで、見た目にかわいいお菓子」（伊藤社長）。数十年前から存在したが、流行するにまでは至らなかった菓子という。

マカロン人気に火がついた時期とパティスリー シエルブルーの開業時期が偶然にも重なった。そこで伊藤社長手作りのマカロンを店頭で並べたところ、品質の高さが評判になり、お店の看板商品に育った。ただ、マカロンは見た目よりも「作るのが難しいお菓子」（伊藤社長）という。そこで専用の機械を導入し、各工程の効率化を図った。



マカロンやデコレーションケーキが並ぶ店内

#### 事業成果

##### 導入効果大きい包装機

パティスリー シエルブルーでは1日に800個のマカロンを作っている。「マカロンは皮の善し悪しで味の8割が決まる」（伊藤社長）とされ、均一に焼き上げた皮はフワツとした食感で、甘みも感じるという。これまでは伊藤社長の技術に頼り、マカロンを製作してきた。

2019年に充填機、オーブン、正ピロー包装機を導入した。特に導入効果が大きかったのは包装機。従来、2人で2時間半かけて包装していた作業が、わずか20分で済むようになった。繁忙期はマカロンを焼くが、包装する時間がなく、店頭で並べられないこともあったという。「このお店規模で必要かと半信半疑だったが、効果は大きかった」（伊藤社長）。



包装機の導入により作業時間は20分に短縮

#### ワンポイント

##### 人口が増加する総社市

2020年の国勢調査によると総社市の人口は6万9030人。前回調査の2015年に比べ、2175人、率にして3.3%増えた。岡山県内の市で前回調査に比べ人口が増えたのは総社市と岡山市のみ。総社市は岡山市や倉敷市と接し、両市のベッドタウンとして発展しており、2020年は2273人がほかの市町村から転入した。洋菓子店など地域密着型の事業者にとっては顧客を増やしやすき環境にあるといえる。



社長シェフパティシエ  
いとう よしひろ  
伊藤 嘉浩さん

#### ▶▶▶ 会社概要 company profile

設立	1999年	所在地	岡山県総社市三輪674-1
資本金	非公表	TEL	0866-94-8870
代表	伊藤 嘉浩	FAX	0866-94-8875
従業員数	13人	URL	http://www.cielbleu2007.jp/
売上高	非公表		

## ▶▶ 株式会社モスト

### 新設備導入による生産性向上と 工場ネットワーク化、短納期生産体制の確立。

モストは地元岡山県内向けを中心にオーダーメイドの建築金物を製造、一部施工まで手がける。得意とするのは超短納期やステンレス製の金物。金属板に穴開け加工するタレットパンチプレス（タレパン）は必要不可欠だが、製造から30年を経た旧型機を使い続けていた。2017年、補助金を受けて最新鋭機に更新し、品質と効率を大幅に高めることができた。

#### 会社概況

##### 建築金物、ステンレスや超特急品で特色出す

モストは山本英樹社長が31歳の時に創業した。父親が経営していた建築金物の会社が経営破綻し、負債を背負ってのスタートだった。中学生の頃から父親の工場で溶接作業を手伝っていた山本英樹社長。オーダーメイド品やステンレスの金物、最短で受注したその日のうちに製作、発送する超短納期品など、難しい仕事をこなすことで生き残ってきた。

仕事の9割が岡山県内向けで、建築金物は現地での施工もこなす。建物の新設があると一気に仕事が増え、ない時は全く仕事がないのが建築金物。このため近年では対策として、需要が見込める商業施設などの看板サインの仕事を強化中。工期やコストが読みにくい現地施工がないのも看板の利点だという。



岡山市東区の本社

#### 事業内容

##### 「我慢して使ってきた」旧型タレパン、刷新へ

建築金物のような板金加工にとって、金属板を任意の形状に切り抜く工程は不可欠。最近ではレーザー加工機も使われるようになってきたが、金型で打ち抜くタレパンは今もよく使われている。モストが使っていたタレパンは30年前に作られた旧型機で、金型で抜いた抜きカスが、使う部材の上に乗かって傷を付ける「カス上がり」や、丸穴などを連続的に打って線状に打ち抜く「ニブリング」で生じる痕跡などが問題になっていた。加工するための数値制御（NC）データも紙テープで入力する旧方式。一度に入力できるデータ量も少なく、加工データを半分に分けて入力するなど「我慢して古い機械を使っていた」（山本社長）という。



外壁金物を納入した、山陽新聞グループの早島印刷センター（岡山県早島町）

#### 事業成果

##### ネットワーク接続した新型機で直角曲げも容易に

そこで選定・導入したのはアマダのコンピューター数値制御（CNC）タレパン「EMK-3612 MII」。金型の上部からエアを吹き出して抜きカスを下に落とすことでカス上がりはなくなった。ニブリングもより細かいピッチで穴を開けて送ることができるため痕も生じなくなった。

加工データは紙テープによる入力から、ネットワークで接続したパソコンからCADデータを直接送信する方式に変更。機械に搭載するメモリーの容量は従来機の3倍に増えた。また、V型の断面をした「V溝」の加工が可能になったため、より精度よく板を直角に折り曲げることができる。山本英樹社長は「加工スピードは速く、作業範囲も大きい」と満足げに話す。



導入したアマダの最新鋭タレットパンチプレス

#### ワンポイント

##### 地域で役立つ建築金物業者に

板金機械を一通りそろえるには1億円はかかるとされる。タレパン以外にプレスブレーキやシャーリングマシンと合計3回、補助金を利用して設備を導入した同社にとって、ものづくり補助金は頼もしい存在。ただ、普及が進むレーザー加工機については補助金に頼らず、インターネットで中古機を購入しており、知恵を絞って設備をそろえてきた。「たくさん稼いでいい車に乗るよりは、地元岡山で役に立てる会社になりたい」（山本社長）。



代表取締役

やまもと ひでき  
山本 英樹さん

#### ▶▶▶ 会社概要 company profile

設立	1996年	所在地	岡山県岡山市東区金田531-1
資本金	1000万円	TEL	086-948-5666
代表取締役	山本 英樹	FAX	086-948-5667
従業員数	20人(パート含む)	URL	https://www.kkmost.com
売上高	非公表		

## ▶▶ 株式会社アイ・エス

### 県北のステンレス加工技術の向上！！ 最少人数稼働への地域牽引企業としての挑戦！！

アイ・エスの主力は食品や医薬品などの充填機の部品。特にノズルやバルブなど「接液（液体に接する）部品（サニタリー部品ともいう）」の機械加工が中心で、溶接やバフ研磨までの一貫生産が行える。加工品の9割をステンレスが占め、同じくステンレスを得意とする池田精工から1984年にサニタリー部門が分社した。2019年に最新型の立型マシニングセンター（MC）を導入、柔軟で高効率な生産体制を整えた。

#### 会社概況

充填機向けステンレス部品主力に、  
好調な受注を維持

アイ・エスが手がけるステンレス接液部品は「材質や仕上げ面の精度に高い品質が必要」（原田取締役工場長）な高付加価値部品。北陸地方にある業界トップクラスの飲料充填機メーカーから岡山県の同社が加工を受注。以来、中心的な協力会社として、バルブ部はほぼ独占的に供給している。

加工する部品の約5割が充填機向け。残りはリチウムイオン電池や半導体の製造装置、水素関連機器の部品など、ステンレスを中心に難加工材の部品を幅広く手がける。過去には薄型ディスプレイ製造装置の部品がよく出た時もあった。このために必要な、長尺部品を加工できる工作機械を多く保有するのも特徴。コロナ禍にあっても好調な受注を維持してきた。



本社工場。グループの池田精工の布原工場に隣接する

#### 事業内容

マシニングセンター刷新し効率向上、  
不良率低下を目指す

旺盛な受注水準を確保する同社だが、岡山県北地域の慢性的な人手不足と、それに対していかに生産性を高めるかは根強い課題だった。工作機械の老朽化更新や追加導入は随時行ってきたが、本事業を実施した2019年時点でも1台のMCが経年劣化し、剛性不足による効率低下や、従業員の熟練不足などによる不良品発生が問題になっていた。そこでものづくり補助金を活用しMCの更新を決定。古いMCはヤマザキマザック製の門型MC「FJV200」。後継機に同じヤマザキマザック製立型MC「VTCS530 / 20」を採択した。テーブルの左右軸が1950ミリメートルと、長尺部品が加工可能な新型機だ。



加工を手がけるステンレス部品。  
食品や医薬品の機械には不可欠

#### 事業成果

長い加工室を仕切って柔軟な使い方、  
生産性2倍へ

長いテーブルの特徴は、長尺物だけでなく加工室を左右に仕切って柔軟な使い方ができることにある。例えば左右に円テーブルとマシンバイスを取り付ければそれぞれ違う部品を加工できる。同じ部品を加工するにせよ、片方で切削しつつもう片方で加工物を着脱するなど、小型機2台を並べたような使い方もできる。「全部1台でできるオールマイティな機械」（原田取締役工場長）。精度も向上した。工具を保持するツールホルダーは「2面拘束」という方式で、ステンレスなど難削材を加工してもびびり（工具の振動）を抑えて精度高く仕上がる。使い方にもよるが生産性は従来機の2倍に向上。今後の成長を支える機械になりそうだ。



導入したヤマザキマザックの立型マシニングセンター

#### ワンポイント

「津山ステンレス・メタルクラスタ」のメンバー

津山市と近郊には、ステンレスなど難加工材の加工を得意とする企業が集積している。始まりは1997年に発足した共同受注組織（津山ステンレスネット）。2015年、2組織が統合し「津山ステンレス・メタルクラスタ」が誕生した。現在45社が加盟、「つやま産業支援センター」が事務局となり地場金属産業の振興に努める。アイ・エスとグループの池田精工は日本のステンレス加工基地化を目指し活動している。



取締役工場長  
はらだ ひさし  
原田 寿さん

#### ▶▶▶ 会社概要 company profile

設立	1984年	所在地	岡山県苫田郡鏡野町布原297-8
資本金	2000万円	TEL	0868-28-8805
代表取締役社長	山崎計夫	FAX	0868-28-8806
従業員数	35人	URL	https://ikeda-is-com.secure-web.jp/
売上高	5億7600円(2023年3月期)		

# ティーツーケー株式会社

## 物流業界の“働き方改革”時代における 小梱包ニーズに対応した「袋包装サービス」強化事業

ティーツーケーの主力は、物流業務を一括受託するサードパーティロジスティクス（3PL）。2006年に創業し、商品の入荷や仕分け、保管、梱包、発送などの実務をインターネット販売（EC）業者から受託することで、EC市場の伸びと合わせ成長してきた。業務効率化に向け、梱包を自動化する装置を2019年に導入。大型の立体自動倉庫を導入する計画も進めている。

### 会社概況

#### インターネットECの拡大に合わせ成長遂げる

3PLで創業し堅調に業績を伸ばしてきたティーツーケー。成長の要因は何よりもネット販売市場の拡大にある。ネット販売業は、背後に物流の実務があってこそ成り立つ。2012年には岡山に本社を置く有力古着販売業者と取り引きを開始し成長の牽引役となってきた。コロナ禍による「巣ごもり需要」で需要はさらに拡大、2020年6月には同社にとって過去最高の荷物発送個数を記録した。

足下ではコロナ禍の終了とともに発送数は横ばいから微減傾向だが「ネットでものを買う文化はなくなる」と榎尾有祐物流事業部部長。レーザーマーカによる名入れを組み合わせた物販、2020年に許可を取得した一般貨物自動車運送事業との3本柱で、さらなる成長を目指している。



倉敷市曾原にある同社最大の拠点、水島IC倉庫

### 事業内容

#### 発送個数の急増受け、梱包作業を自動化へ

大口顧客であるこの古着販売業者は、全国に約50店の店舗を持ち発送業務の大半をティーツーケーで請け負う。古着は販売業者の買い取りセンターに集めて査定、売主がOKならば買い取る。

その後ティーツーケーの物流センターに送られ、同時にインターネットで出品される。ティーツーケーは古着を仕分けて単品管理して保管し、注文に応じて梱包・発送する。この顧客向けの荷物発送個数は、取り引きを開始した2012年当時月間1500個だったのが2019年には同4万個まで急拡大した。

そこで問題になったのが効率化だ。特にボトルネックだった梱包作業は、熟練者でも1時間に60個が限界。自動化が求められていた。



立体倉庫で商品を管理

### 事業成果

#### 袋梱包でゴミ削減、 梱包・ラベル貼り大幅効率化

自動化と同時に荷姿を段ボールから袋に変更した。古着は柔らかく、袋梱包でも壊れない。「袋の方がゴミが減り喜ばれる」（榎尾物流事業部部長）のも理由。

装置は、当初計画の「FloWrap」から「Autobag AB850S」へと変更した。販売元の米シールドエアーがM&Aでラインアップに加えた袋梱包装置で、設置面積が小さく動作も確実なためだ。

新装置により、梱包とラベル貼りにかかる時間は1440分から100分へと大幅に短縮、ラベルの貼り間違いもなくなった。袋梱包の比率は65%から85%へと拡大し積載効率向上につながった。梱包自動化を成功させ、さらなる受注拡大に向け基盤を整えることができた。



導入した自動包装システム『Autobag AB850S』

### ワンポイント

#### 次世代の成長に向け、新しい立体自動倉庫を武器に

2023年8月に策定した中期経営計画で3年後に売上高50億円を目指す方針を打ち出した。伸びの中心は物流事業。榎尾物流事業部部長は「一緒に成長できる企業と、ECのリアル（実務）の部分を手伝いたい」と力を込める。

大きな武器が、2024年春に稼働予定の新しい立体自動倉庫。ピッキング作業を人手から多数のロボットに置き換える。先進的な設備は注目を集めそうだ。



物流事業部部長  
まき お ゆう すけ  
榎尾 有祐さん

### 会社概要 company profile

設立	2006年
資本金	300万円
代表取締役社長	栗山 豪利
従業員数	27人
売上高	12億3000万円(2023年8月期)

所在地	岡山県倉敷市福江41-4
TEL	086-485-2101
FAX	086-486-3369
URL	https://www.t2k.ne.jp/



# 株式会社WHOVAL

## ナノバブルを活用し環境に配慮した革命的生産プロセスの確立

WHOVALはジーンズの町倉敷市児島で2007年に創業。加工専門からスタートし、縫製や仕上げまで含めて請け負うOEMや、自社縫製へと業容を拡大してきた。2019年、新しい加工法として注目を集めていたナノバブル加工機を他社に先駆けて導入。水や薬剤の使用量を減らせるサステナブル対応や、ジーンズに新しい表情を出せることなどを武器に、事業拡大を図る。

### 会社概況

#### ジーンズの加工専門からスタートし、業容を拡大

ジーンズ業界には加工専門という独特の業態がある。デニム生地にさまざまな表情を持たせるには、洗いなどの加工なしでは実現できないためだ。WHOVALの創業も「洗い加工」から。代表が「ストーンウォッシュ」で、新品のジーンズを軽石と混ぜて洗うことで着古したような風合いを出す。2013年には「スリ加工」を開始。股の付け根や膝裏などをこすって、自然にしわが入ったような表情を付ける。その後製品全体の企画から製造、納品まで請け負うOEMや、自社ブランド製品にも参入。2020年には自社縫製工場を開設した。今では売上げの5割をOEM、4割を加工、1割を自社ブランド製品が占め、ジーンズの総合的な事業を手がける企業に脱皮を遂げつつある。



倉敷市児島の本社。水処理タンクがシンボルになっている

### 事業内容

#### ナノバブル加工機、他社に先駆けて導入

ジーンズ業界では普及しているストーンウォッシュだが、難点もある。使用後の軽石の適正処理や、ポケットなどから人手で石を取り除くためにコストがかかること、洗濯機の損傷が激しいことなどだ。ナノバブル加工機はスペインのJEANOLOGIA（ジーノロジア）社が開発した装置で、ジーンズを水につけるのではなく、霧状にした薬剤を噴霧することで色を落とすなどの処理を施す。水と薬剤の使用量を70%削減できるほか、軽石を使わなくて済むためコスト減や石の処理費用削減にもつながる。検討の結果、ナノバブル加工機「e-Flow」と、専用の洗濯脱水機「Neo-100」の導入を決定。2019年の導入時には国内での事例はほとんどなく、業界でも先駆的な取り組みとなった。



加工を施すことでさまざまな表情を見せるジーンズ

### 事業成果

#### 「ナノミスト加工」、デニムの表情多彩に表現

設備導入後、うまく使いこなすまでしばらくかかったというが、薬剤メーカーとも協力し乗り越えた。2020年には同じ加工機と洗濯機の2セット目を導入。今では独自の「ナノミスト加工」としてブランドを確立した。特徴としては、ストーンウォッシュからの置き換えによる環境対応向上に加え「いろいろなデニムの表情を出せるのが一番のメリット。染色に使っても濃淡が出るし、ムラっぽく仕上がる」と猪野遼介取締役は説明する。この加工機も普及が進み、今では国内で10社以上が導入。同社としても、さらに他社に先んじた取り組みが求められる。「e-Flowを中心に、原点である加工事業の仕事を増やしていきたい」（猪野取締役）。



ナノバブル加工機『e-Flow（右）』と、専用の洗濯脱水機（左）

### ワンポイント

#### 業界の中心は「振り屋」からOEMへ

ジーンズの町児島で活躍してきたのが「振り屋」という業者。自社で設備を持たず、東京などからの注文を元に材料や縫製、加工などの仕事を割り振って取りまとめる商社的な業態だが、近年では衰退してきたという。WHOVALの加工のように、自社で何かの工程を持つ業者が他工程に手を広げて生産を請け負うOEMが発達。振り屋の存在価値が薄まってきたためだ。生き残りに向け各社知恵を絞っている。



取締役  
いのりょうすけ  
猪野 遼介さん

### 会社概要 company profile

設立	2009年	所在地	岡山県倉敷市児島下の町5-1-50
資本金	300万円	TEL	086-474-0080
代表取締役	石橋 秀次	FAX	086-474-0090
従業員数	50人	URL	https://whoval.com/
売上高	8億8000万円(2022年12月)		

# ▶▶▶ 大紀産業株式会社

## 世界初ステンレス製 デジタル大型電気食品乾燥機の開発

大紀産業は食品乾燥機市場で30%のトップシェアを誇る。きっかけは2008年に投入した電気食品乾燥機。以前は灯油燃料タイプが主流だったが、コンセントを差し込めば使える利便性が受けてヒットした。2021年にはステンレスなど長物鋼材の曲げ加工が可能なプレスブレーキを導入。より大型のステンレス乾燥機が必要な食品業界向けなどに新分野開拓を進める。

### 会社概況

#### 創業からのノウハウを活かして新分野へ挑戦

1948年の創業以降、葉たばこ乾燥機の製造・販売を主としていた。しかし健康志向の高まりや増税でたばこの市場は縮小していく。危機感を募らせた3代目の安原宗一郎社長はボイラー式から電気式へと熱源をシフトした食品電気乾燥機の開発に着手。

強みは大型の乾燥機内でも均一に熱を当てる独自の熱循環技術と素材の色を残したまま乾燥できる品質。そして乾燥機内の高い気密性を実現する、社内一貫生産による製造ノウハウだ。現在は日本国内の食品製造業や農家のみならず、アメリカや中国、東南アジアなど海外、特に途上国へ乾燥機を輸出。ドライフード化により流通技術の未発達な国でも食品腐敗の防止を可能にし、食品への高付加価値化やフードロス削減に世界的に貢献している。



岡山駅から1キロメートル圏内に立地する本社工場

### 事業内容

#### 難易度の高いステンレス加工への対応を目指す

大紀産業の食品乾燥機はスチール製が主流。だが2018年の食品衛生法改正により、食品を扱うすべての事業者に対して、2021年6月から「HACCP」を用いた衛生管理が義務づけられることになった。食品機械には、耐久性・耐食性が強く錆に強いステンレス化が求められる。

ステンレスの加工は難易度が高い。曲げた後に元の形に戻ろうとする「スプリングバック」への対応や、特に大型品では、曲げ加工時に両端の角度のズレを抑えた「通り精度」を確保する必要がある。既存設備では加工後に手作業で角度を補正する必要があり、ステンレス加工では速度と精度に限界があった。そこで大型品でも高精度に曲げ加工ができる新しいプレスブレーキの導入を決めた。



液晶タッチパネル搭載の電気乾燥機「E-30H-PROプレミアム」

### 事業成果

#### 生産性4倍で国内外からの需要に対応

2021年5月に新しいプレスブレーキを導入した。

約1カ月かけてステンレス製大型電気乾燥機の試作を実施。最長2メートル、最厚4.5ミリメートルの大型ステンレス板を曲げた際も、両端角度の誤差はプラスマイナス0.01度と高い通り精度を達成し、人手による角度の確認や補正作業が不要になった。

結果、加工速度は約7割向上した。また精度の高さは乾燥機の密閉性にも関わる。高い気密性を保持したままステンレス化が実現できたことは大きな成果だった。既存設備では年間5台が限界であった生産性も年間20台以上に向上。今後拡大が予測される国内外市場からの需要に対応しうる体制が構築でき、営業活動にも力が入る。



導入したプレスブレーキ。難易度の高いステンレスの曲げ加工に対応

### ワンポイント

#### 乾燥ノウハウのプログラム化で高付加価値化

2022年に製品化した「液晶タッチパネルPRO」は、同社乾燥機の最上位機種に取り付け可能。12種類の作物の乾燥パターンをあらかじめ登録しており、最大30種類まで登録できる。乾燥の温度や時間、風量などを自由に設定でき、乾燥終了時間の予約や、間欠運転機能も搭載する。乾燥食品を誰でも簡単に作れるうえ、さらには独自の乾燥ノウハウもプログラム化して容易に再現できる高付加価値を実現した。



代表取締役社長  
やすはら そういちろう  
安原 宗一郎さん

### ▶▶▶ 会社概要 company profile

設立	1948年	所在地	岡山県岡山市北区清心町3-3
資本金	2000万円	TEL	086-252-1178
代表取締役社長	安原 宗一郎	FAX	086-252-6690
従業員数	28人	URL	https://www.taikisangyo.co.jp/
売上高	5億7800万円		

# 株式会社フジワケミカル エンジニアリング

## “熟練の技術を活かす” 大型製品受注拡大とテレワーク導入

フジワケミカルエンジニアリングは半導体製造装置などに使われる工業用樹脂の部品加工から装置の組み立てまで手がける。部品や装置は大きさや仕様など一品一様で、顧客の要望にきめ細かく対応できるのが強みだ。今後予想される装置の大型化への対応と生産性向上のため、新たに工作機械1台と稼働状況の遠隔監視システムを導入した。

### 会社概況

#### 2017年に新工場稼働

フジワケミカルエンジニアリングは1989年に岡山県倉敷市で設立し、工業用プラスチックの加工を手がけてきた。板状や筒状の工業用樹脂を機械加工し、部品の製作から溶接や接着による最終的な装置の組み立てまで行う。納入先は半導体や液晶の製造装置をメインに水処理や産業用機械にも広がる。

業容は順調に拡大し、2017年に現在の場所に本社工場を移転した。新本社工場の敷地面積は約4000平方メートル、建屋の延べ床面積は約1300平方メートル。このうち、800平方メートルを部品加工の工場として利用し、ルーターやマシニングセンター、5軸加工機など多数の工作機械が稼働する。工場内は品質維持のため、一定温度になるよう管理する。



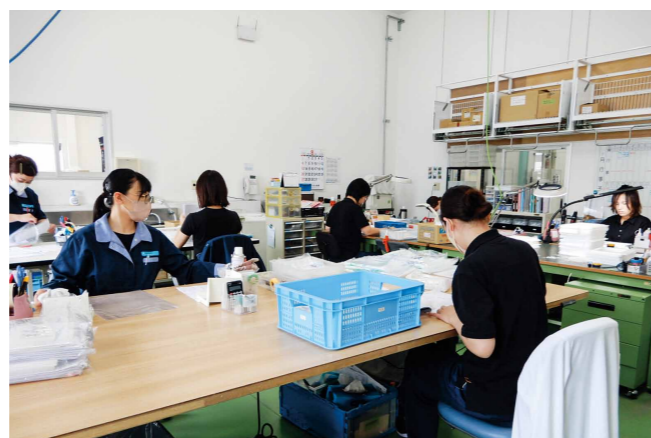
2017年に移転稼働した本社工場

### 事業内容

#### 樹脂製薬液ユニット

半導体のウエハーを洗浄する装置に組み込む樹脂製薬液ユニットの部品加工や装置の組み立てが受注量の過半を占める。装置は1台ごとに寸法や配管の位置などが異なる「オーダーメイドタイプが多い」(杉本社長)という。仕入れる樹脂製板の厚さが5ミリメートルから10ミリメートルまであり、1枚ごとに必要な大きさにカットし、その後、機械加工する。

半導体は生産効率を高めるため、基盤となるウエハーの大型化が進んだ。現在は直径300ミリメートルのウエハーが主流となっており、将来は直径450ミリメートルのウエハーが登場するという予測もある。ウエハーが大口径化すると洗浄装置など製造装置も大型化が必要となる。



女性が活躍する部品の検査工程

### 事業成果

#### 受注拡大し売上高倍増

加工する部品の大型化に対応し、2021年に長い部品を加工できるマシニングセンターを1台導入した。16本のツールを自動交換できる機能もあり、加工の自動化にもつなげた。同時に装置の稼働状況を遠隔監視するシステムを導入。現在は3台の装置を監視している。

世界的な半導体市況の活況を受け、半導体メーカーは近年、設備投資を拡大してきた。フジワケミカルエンジニアリングの受注量も拡大し、2022年8月期の売上高は11億円を超え、2019年8月期から倍増した。社員数も増員したため、「工場が手狭になった」(杉本社長)。そこで本社工場敷地内に工場を増設し、組み立て作業を行うスペースを拡張する計画だ。



マシニングセンターを導入し加工を自動化

### ワンポイント

#### 中国地域に 半導体製造装置集積

半導体の製造工程はウエハーに回路を形成する前工程とウエハーを切断・パッケージする後工程がある。前工程ではウエハーに薄膜形成や感光剤の塗布、回路パターンを焼き付ける露光など複数の工程があり、これを複数回繰り返す。後工程はウエハーの切断、チップの配線やパッケージなどを行い、最後は各種の検査を経て完成となる。中国地域にはダイシングや洗浄、搬送などさまざまな半導体製造装置の工場が集積する。



代表取締役

すぎもと たけひさ  
杉本 剛久さん

### 会社概要 company profile

設立	1989年	所在地	岡山県倉敷市福江7-1
資本金	1500万円	TEL	086-485-2700
代表取締役	杉本 剛久	FAX	086-485-2701
従業員数	47人	URL	https://www.fuji-chemicaleng.co.jp/
売上高	11億円(2022年8月期)		

## ▶▶ 株式会社児島織協

### 選別プロセス改善による解体系廃棄物の積極的受入でSDGs推進

児島織協は、産業廃棄物の中間処理と収集運搬を主力とする。主な顧客は地場建設会社で、建設現場にコンテナを設置し、8品目ある建設廃棄物を収集し適切に処理する。集めた廃棄物は破碎・分別し、リサイクルや最終処分へと振り分ける。この分別作業を自動化するための選別プラントを2022年に導入。効率化と従業員の負担低減を果たした。

#### 会社概況

##### 繊維くず再生の協同組合から、廃棄物処理のリーディングカンパニーへ

児島織協は「児島繊維原料協同組合」として1962年に設立された。その名のとおり、もとは地場産業である繊維の会社から出る繊維くずを収集し、自動車シートの中綿の原料として販売する事業を手がけてきた。だが事業としては先細り。組合経営の飲食店での勤務を経て理事に就いた西山隆之代表取締役が事業拡大に着手し建築廃棄物に参入、2021年に協同組合から株式会社へと改組した。今では、廃棄物一元管理を手がけるゼンショーエコロジーや建設・解体工事が主力のアクアコーポレーションなど8社でグループを形成。「廃棄物処理業界を“ホワイト化”しリーディングカンパニーになりたい」（西山代表取締役）。



倉敷市児島小川に立地する本社

#### 事業内容

##### リサイクル比率向上のカギが分別、自動プラント導入へ

廃棄物の中間処理では、集めた廃棄物を切断・破碎して分別する。きれいに分別するほどリサイクル原料として販売できる。リサイクルできない残渣は埋め立てなどで最終処分する必要があるが、最終処分場は限られコストも高い。リサイクル比率を高めることが中間処理業にとっては重要だ。児島織協は繊維くずと鉄、紙のリサイクルを手がけており、建設廃棄物のニーズが高かったことから建設廃棄物の処理に参入した。ただし、中にはさまざまなごみが混ざった混合廃棄物があり、従業員がしゃがんで、手で選別していた。時間がかかり作業環境も悪いため自動選別プラントの導入を決めた。



分別・管理された産業廃棄物

#### 事業成果

##### 混合廃棄物の選別、効率が飛躍的に向上

選別プラントの導入に当たっては、西山代表取締役みずから探してまわり、中山鉄工所（佐賀県武雄市）の吸引選別機「AS1200」を中心に磁選機やベルトコンベヤーを組み合わせたプラントを導入した。混合廃棄物を投入すると、磁選機で鉄などの金属くずを取り除いた後、ふるいにかけて土砂を落とす。次に吸引選別機で紙やビニール、木くずなどを吸い取る。最後に残った残渣から異物を取り除く工程のみを人手で行って、最後はがれきが排出される。

このプラントで、以前は1立方メートル当たり5～6人で1時間かかっていた選別作業が、2人で5分と飛躍的に効率が向上。リサイクル率も50%から75%に向上した。今後は混合廃棄物の多い解体系廃棄物の受入量をより増やしていく方針だ。



導入した選別プラント

#### ワンポイント

##### 作業環境改善で業界イメージ一新

本社は住宅街の真ん中にあるため、あえて壁を低く外から見えやすい作りにし、不信感をもたれないようにしている。周辺住民の合意を取り付け、インターネットで手続きを調べて廃棄物処分業や廃棄物収集運搬業の許可を自力で取得。従業員の労働環境改善のため、粉塵を抑制する霧の発生装置の設置などさまざまな工夫を凝らしてきた。「廃棄物業界のイメージを一新していきたい」（西山代表取締役）。



代表取締役  
にしやま たかゆき  
西山 隆之さん

#### ▶▶▶ 会社概要 company profile

設立	1962年	所在地	岡山県倉敷市児島小川6-1-10
資本金	2000万円	T E L	086-472-4912
代表取締役	西山 隆之	F A X	086-472-4969
従業員数	22人	U R L	https://kojimasenkyo.jp/
売上高	2億8000円(2023年3月期)		

## ▶▶▶ 高木金属株式会社

### 県内初製品を製造することで、 強固な経営基盤の構築、稼ぐ力の強化

高木金属は住宅や工場、店舗の屋根材や壁材など、建築用金属製品の加工・販売を行う。1996年に建設業許可を取得し、建材の加工・販売だけでなく施工までワンストップで対応できるようになった。2022年には従来製品よりも高強度で施工が簡単な折板屋根材「L145」を製造できる専用成形機を導入。岡山県内初の導入企業として取引先のニーズに応える。

#### 会社概況

##### 屋根材と壁材の成形・販売、 そして屋根のリフレッシュ工事が3本柱

創業は1928年。個人営業で家庭用金物を販売していた。戦後の1951年に建築板金の材料販売に参入し、徐々に建材の成形加工まで手を広げてきた。現在手がけるのは屋根材や壁材の加工販売、古くなった屋根材の上から新しい屋根材を葺く「リフレッシュ工法」の3事業。特に屋根材は売上高の約5割を占める主力商品だ。

近年、ロードサイド店舗の複合施設化や物流施設の大型化で、求められる屋根材も大型化している。「元々は住宅向けがメインだったが、最近は大型案件が伸びてきた」（高木社長）。本社のある岡山県西南部に留まらず、兵庫、広島や山陰など隣県での受注を増やしつつある。



温暖な岡山県倉敷市に立地する本社工場

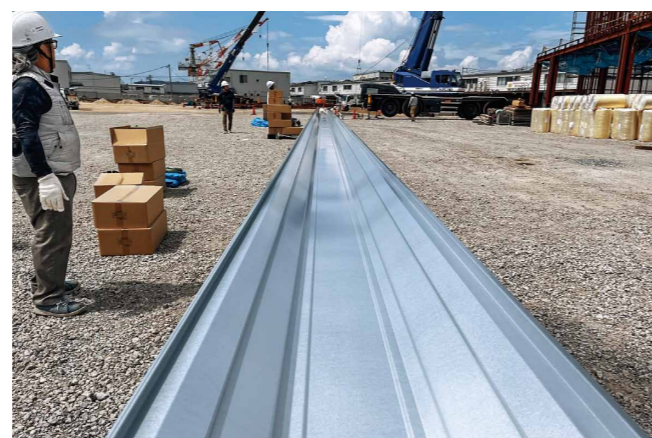
#### 事業内容

##### 高強度、高施工性の新しい屋根材を提供

高木金属の本社工場では長さ20メートルの屋根材まで加工可能だったが、長尺品の運搬はコストの上昇や道路規制、近年のトラック運転手不足などで困難さが増していた。

そこで屋根材の成形機を施工現場に持ち込み、コイル状の鋼板を現地で成形加工する手法を取ってきた。しかし、唯一の成形機が自社に無い期間は納期の長期化や機会損失を生む。また、従来成形・販売してきた折板屋根材「D160II」は業界の定番製品だが、より高強度で施工性の高い屋根材のニーズが高まっていた。

そこで日鉄鋼板（東京都中央区）が開発した新しい折板屋根材「L145」を扱うため、専用成形機の導入を決めた。



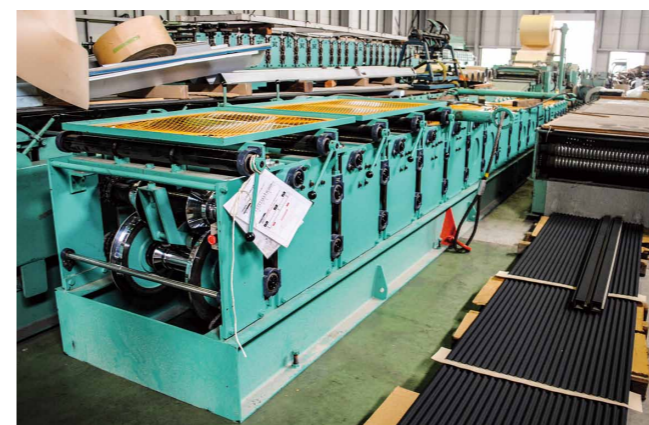
現場に持ちこんだ成形機で製造した屋根材「L145」

#### 事業成果

##### 施工性の高い屋根材で、工期短縮が可能に

2022年4月「L145」専用成形機を導入。成形機が2台になり、機会損失の防止や短納期化に繋がった。また新しい成形機は従来の成形機よりも全長が1メートル短い10.5メートル。トレーラーを使わずとも10トントラックで運べるようになり、各地の施工現場に容易に運べるようになった。

「L145」の特徴の一つは高い施工性にある。「D160II」と違い、ボルトによる固定が不要。鉄骨に固定したフレームの爪と重ね合わせて足で上から踏み込むと、カチッと噛み合う。仮に36メートルの屋根材を90本固定する場合、約半日工期を短縮できる。部材の単価は上がるが高強度や工期短縮が強みとなって取引先からの需要は高く、新規顧客の開拓も期待できる。



「L145」専用の成形機。岡山県内で唯一の導入企業になる

#### ワンポイント

##### 設備導入で 県内オンリーワン企業に

「L145」成形機の導入企業は、現時点では岡山県内では1社のみ。新しい屋根材へのニーズが増えれば、受注増が見込める。また県外の案件についても、開発元の日鉄鋼板グループを介して受注の話があるという。特に、標準的な建材を駆使して工期やコストを抑える「システム建築」の部材としての採用が増えることが見込まれ、期待がかかる。一方、地元製鉄所を持つJFEスチール系の屋根材には、従来の成形機で対応可能。製品ラインアップの拡大で、地域での建材商社としての存在感は高まっていきそうだ。



代表取締役  
たかぎ ゆたか  
高木 豊さん

#### ▶▶▶ 会社概要 company profile

設立	1951年	所在地	岡山県倉敷市玉島乙島7101-3
資本金	500万円	TEL	086-526-2525
代表取締役	高木 豊	FAX	086-526-2215
従業員数	10人	URL	https://takagi-kinzoku.jp/
売上高	5億2000万円(2022年12月期)		











補助事業者名	事業計画名
株式会社コスモエスティ	納品の効率化・利便性を高める抗ウイルス縫製製造の革新的工程改善
小林産業株式会社	製造工程自動化による食品を引き立たせる味付海苔の新商品開発
株式会社コチネット	ASVに対応した次世代車検点検システムの確立による競争力強化
有限会社近藤鉄工所	1マイクロメータ誤差の高精度「ボルト」製造で船用部品市場開拓
サイトウ飯金	作業工程の効率化で実現する「街のクレーン屋さん」プロジェクト
株式会社栄	焼成パンからサンドイッチ事業への参入
作東土木運送株式会社	未利用のもみ殻活用による低炭素型の新規事業立ち上げ
サクライ軽金属株式会社	中大型アルミ鋳造品の多品種化に対応するための自動制御・運搬搬送機の導入
有限会社サポートスタッフ嵯栄	3Dデータモデルの測量技術を活用した革新的な不動産業務DX化
株式会社山成工業	円筒形部品の対応力強化により利益率向上計画
株式会社山祐	ロングリーチグラブ導入による革新的素材生産体制の確立
山陽精機株式会社	オンラインによる「発送前」「受入時」同時検査体制構築事業
有限会社山陽地研	岩盤ボーリングによる山間部のボーリング井戸ニーズへの対応
株式会社ゾスクリエーション	オーダーメイドと多種少量・短納期強化のための革新的生産体制
しばさき歯科医院	診療・治療サービスの可視化を図り顧客満足度向上を目指す
有限会社シビルエンジニア	設備導入による省人化の実現での生産性向上と新サービスの開発
有限会社シモダ企画	難癒性疾患・循環器疾患の治療率を向上させる高度医療の提供
株式会社ジャパンアイデアホーム	革新的住宅設計サービスのリリースによる商圏の拡大と非対面ビジネス化
正栄工業株式会社	コロナ禍においても市場が拡大している食品機械産業への進出に向けた生産体制構築
昭和波源株式会社	A1採寸による学校制服の非対面・非接触型販売システムの構築
株式会社新生工業	*自動倉庫*導入による金型等ピッキング工程のリードタイム短縮
株式会社スリーアール	ダイオキシンの除去及び水処理の機械化による生産性向上と環境性能の両立
正道歯科医院	高齢化地域に根差したリテーニングデンタルクリニックの構築
妹尾機械工業株式会社	大径・長尺旋盤加工体制の構築による一貫生産体制強化の実現
有限会社大喜水産	岡山の機械化をしたセントラルキッチンで効率化とネット販売
株式会社大興電業	板金事業若手育成、事業拡大
大興塗装工業株式会社	循環式エコクリーンプラスト工法による革新的調機工体制の確立
高木金属株式会社	県内初製品を製造することで、強固な経営基盤の構築、稼働力の強化
有限会社タカト	冷凍自動販売機導入による、新しい販売方法の構築
田口歯科クリニック	根管治療を中心とする歯科医療水準の向上と治療の短期化
株式会社ガダ上月	建築用金具配送のシステム化による建築現場の生産性向上への貢献
たち耳鼻咽喉科	CT導入により副鼻腔洗浄等へ診療領域を拡大し、悪化している収益改善を図る。
中国ゴム工業株式会社	最新の水平裁断機を導入し、高性能スポンジの販路を拡大する
株式会社中部日本プラスチック	廃車自動車 由来 プラスチック廃材を使用した再生樹脂製造
道島あさの歯科	ポストコロナに対応した治療体制の構築と歯周病等の治療精度向上
合同会社D、Factory	CAD/CAMシステム及び真空加圧鋳造機の導入による生産性向上
ティ・エムケンテック株式会社	水害が多い中国地方にてドローン等測量設備の導入により、ICT測量体制の構築をはかる。
DTHウェルネス株式会社	動物病院の眼科診療分野における1.5次元への取組
株式会社テオリ	竹集成材増産に向けた生産性向上事業
株式会社蜂農林	アフターコロナ需要に対応するための樹木搬出量拡大と生産効率化
東進工業株式会社	日中同時マシニングセンタと振動解析システム導入によるビビリ撲滅
東備工業株式会社	古い機械部品を再現提供して地域の伝統的ものづくりをサポート
株式会社富田	最新CAD/CAMシステム構築による生産性向上と環境変化への対応
株式会社内外プロセス	RPAと最新色校正ソフトのシナジーによる印刷工程の生産性向上
株式会社中工業	ICT施工による革新的ECT更新工事施工体制の確立
中塚自動車	先進安全自動車等のハイテク車両に特化した整備体制への抜本的な転換計画
株式会社中村熔接所	レーザー加工機によるワンストップ型加工力の強化と生産性向上
株式会社ナショナルフーズ	最新の配膳ロボットの導入による業務の効率化と非接触型店舗の形成
にてデンタルクリニック	最先端歯科医療提供体制の構築
株式会社西江デニム	デニム製品の制菌・抗ウイルス加工工程（薬剤利用、回収・再利用工程）の自動化による生産性向上
西日本アレンジメント株式会社	最適なファイリングシステム構築に向けた設備導入事業
Neosクリュー株式会社	溶接技術の開発による革新的スクリュメッシュ生産方法
株式会社野口ロードワーク	超速乾性コンクリート調合設備の導入による生産性向上
株式会社長谷井商店	フレイル予防対応食品としての魚肉練製品の開発
花田食品株式会社	日本初。グルテンフリーひねり揚げ開発による商品の高付加価値化
林電工業株式会社	スウェーデンスチール社製耐摩耗鋼板HARDOX600の精密加工設備の生産能力向上
形ロザイ株式会社	不定形耐火物の品質強化と安定供給の体制整備
株式会社BAN	ユニバーサル解体機導入による革新的全部再資源化率の実現
ヒカリコンクリート株式会社	空気輸送システムの導入による生産性向上と高性能コンクリートの供給
有限会社ヒカシルク	低感染と環境に対応した生産方式の確立と曲面印刷による受注拡大
株式会社ヒサタ	高品質な熱絶縁工事を通した鉄鋼メーカーのCO2排出量削減への貢献
株式会社平井鉄工所	HV、EV車に不可欠な電磁鋼板の生産設備部品の生産性向上
株式会社平田工業	新設備導入による造成・配管・基礎工事の一貫施工体制強化
株式会社平野鉄工所	超大型建築物・超高層ビル市場への進出のためのコア生産体制の確立

補助事業者名	事業計画名
藤井豊店	ポストコロナの新しい豊需要に応える高効率自動縫製機の導入
株式会社フジテック	三次元測定機の導入による品質保証体制の強化および短納期化
船橋歯科医院	スーパーエナメルを簡単オフできる治療体制の確立による売上拡大
株式会社フレッシュミート	急速冷却冷凍装置を導入した岡山県産銘柄牛肉の冷凍加工・販売による販路開拓
株式会社プロセス	同人誌製作のデジタル印刷へのシフトで顧客ニーズへの対応と生産性向上を図る
ベーシック印刷株式会社	複製品対策として箔押しラベルで取引メーカーのブランドを守る。
株式会社ベース	A1など先端技術を導入した新基幹システムでのサービス改革
丸二工業有限公司	溶接カスが発生しない新型溶接機導入による生産性向上&事業回復事業
株式会社水内ゴム	大型湿式研磨機を使った高精度化と生産性向上による新分野展開
御津電子株式会社	安全機器セーフティライトカーテン部品の革新的生産方法の確立
株式会社光畑製作所	多種少量部品の研削に長けた高精度・高機能CNC装置導入による受注対応力の向上
株式会社武蔵組	民有林所有者向け山地管理ワンストップサービスの革新性強化
村上 安男	産業用無人ヘリコプターによるスマート農業支援サービスの展開
株式会社モーツアルト	新型包装機導入による生産性向上によるスピーディな商品提供
木工産	間伐材と伝統工法を活かしたコロナ対応型タニニーハウスの開発
モリノオト	木工用CNCルーターの設備導入による工程内製成と試作品の新商品化
有限会社モリワキ商事	飼料用油脂製造における請負サービスの展開による生産性向上
山足織物合資会社	電子ジャカード&エアージェット織機の導入による高付加価値生地の生産力増強
有限会社山内製作所	当社初めてとなる金属加工内製成を実現し、金属製検査治具の新開発方式を確立する
有限会社山本製菓	最新設備導入による計量・包装工程の制約改善と海外需要の拡大
株式会社山崎山月堂	自動化による短納期実現と高品質な和洋菓子製造体制の構築
株式会社ユナイティヴ	災害予防を目的としたインフラ工事の新工法導入による革新的事業展開
株式会社横畑組	3次元測量技術と建設機械を組み合わせたICT施工による新たな事業展開
株式会社ヨシナガファインテック	歯切り加工技術の高度化による付加価値額向上の実現
有限会社良味食品	出雲街道はさば街道。自社の強みを活かした販路拡大等のための製造工程の構築
合同会社ラン動物病院	動物に対するがん治療のさらなる挑戦
リクター	スマート農業をサポートする農業用ドローンによる散布支援事業
株式会社リバーウエスト	高圧洗浄＆吸引一体型設備の導入によるサービス生産性の向上
リョーサン株式会社	低感染リスク型：新設備導入により、複数人対応のR曲げ加工の生産性向上
有限会社ルクス	機能性・耐久性の高いパーソナライズなアウトドア商品の製造・販売開始
株式会社ロア産業	大型油圧ショベル導入による調整杭工法プロセスの革新的改善
ロア・ハウジング株式会社	油圧ショベル導入による場所打ち杭工法の革新的プロセス改善



平成28年度・29年度・30年度  
令和元年度・2年度・3年度  
ものづくり・  
商業・サービス  
補助金成果事例集

**岡山県**

発行日：令和6年1月  
岡山県中小企業団体中央会  
〒700-0817 岡山県岡山市北区弓之町4番19-202号  
(岡山県中小企業会館2階)  
TEL 086-224-2245 FAX 086-232-4145  
E-mail chuokai@okachu.or.jp  
URL https://www.okachu.or.jp/